

Rotary

敦賀ロータリークラブ



敦賀ロータリークラブ 2025-2026年度の奉仕活動の紹介

2026年6月

奉仕プロジェクト委員会

◆職業奉仕活動

- 👉 高校生を対象とした就職模擬面接(敦賀高校、敦賀気比高校、美方高校)

◆社会奉仕活動

- 👉 美浜町・若狭町の小学校への優良図書贈呈
- 👉 児童養護施設慰問(白梅学園)
- 👉 こども食堂慰問(青空、おひさま、めぐの家、愛発ん家)(敦賀気比IAC)
- 👉 松原海岸清掃奉仕(年3回(9/6、3/14、6/7))
(敦賀気比IAC、敦賀海洋少年団、日本ボーイスカウト福井連盟第3団)

◆青少年奉仕活動

- 👉 敦賀市内の新一年生へのランドセルカバー贈呈(今年度で終了)
- 👉 「親子フェスティバル」協賛(敦賀気比IAC)

◆国際奉仕活動

- 👉 フランス兵墓地慰霊祭
- 👉 フランス兵墓地慰霊碑設置(今年度のみ)

第41回高校生就職希望者模擬面接

◆日時： 2025年8月22日(金) 12:20~17:00

◆場所： きらめきみなと館 イベントホール

◆参加生徒数： 計61名

- ・敦賀気比高校 38名
- ・敦賀高校 16名
- ・敦賀高校定時制 7名

◆面接官：敦賀ロータリークラブ会員4名＋会員会社社員14名

◆スケジュール：

12:20~13:00 事前説明

13:00~14:20 模擬面接(前半) 35名

14:20~14:50 休憩

14:50~15:50 模擬面接(後半) 26名

15:50~16:10 休憩

16:10~17:00 懇談会(面接官講評、各校先生講評)

◆報道関係者： 嶺南ケーブルネットワーク(RCN)



模擬面接の様子



懇談会の様子

美浜町・若狭町の小学校への優良図書贈呈(事前準備作業)

日時:2025年11月5日(水)13:00~13:30

場所:例会場

参加者:敦賀ロータリークラブ会員他(18名)

作業内容:図書の本数確認、贈呈シール貼り、
贈呈図書の写真撮影



作業要領説明



美浜町・若狭町の小学校への優良図書贈呈(町長への贈呈式)



美浜町長のコメント

「子どもたちが情報を吸収するのは図書が一番。美浜町は人づくりを柱の一つにすえています。興味を持っている本に接する機会を与えて頂き、ありがとうございます。」



若狭町長のコメント

「蔵書を増やすのが難しい中で、子どもが本に触れる機会をつくって頂き、ありがとうございます。本を読むことは子どもの成長にもつながります。ありがとうございました。」



日時: 2025年12月5日(金) 14:00~14:40

場所: 美浜町役場 2階応接室

出席者: (美浜町)

戸嶋町長、教育長、教育総務課長、教育教務課主事
(敦賀ロータリークラブ)
会長、幹事、公共イメージ委員長、
奉仕プロジェクト委員長、副委員長、委員



12月10日付福井新聞



日時: 2025年11月28日(金) 13:30~14:00

場所: 若狭町上中庁舎応接室

出席者: (若狭町)

渡辺町長、教育長、校長会長、教育委員会事務局長、局長補佐
(敦賀ロータリークラブ)
会長、副会長、公共イメージ委員長、
奉仕プロジェクト委員長、副委員長、委員

美浜町・若狭町の小学校への優良図書贈呈(小学校への贈呈の様子)



今の時代でも本好きの子はいるので、図書贈呈はとても嬉しいです。

12月5日 美浜西小学校(27冊)



現在所有している図書は古いのが多いため手に取らず、読書の人気はないのですが、新しい本にはすぐに飛びつきます。大変ありがたいです。

12月9日 みそみ小学校(36冊)



野木小学校は本事業に大変協力的で、全校児童の前で贈呈を行う予定でしたが、あいにくのインフルエンザ流行により、校長室にて校長先生と児童代表の方だけになってしまいました。でも、大変興味深く喜んで頂けたと感じました。

12月15日 野木学校(33冊)



本に親しんで欲しいという思いで『読書集会』を年に2回実施しており、1年生から6年生までの縦割りの8名程度のチームにおいて、各自が好きな本を紹介しあって、お互いに読み合う仕組みがあります。また、低・中・高学年毎に必読書を設定し、全ての本を読んだ児童には、完読賞をあげるような取り組みもあり、今回の図書贈呈は大変ありがたく、しっかりと活用させていただきます。

12月11日 美浜中央小学校(28冊)



デジタルも必要だが本を読むのは大切で、子どもたちもよく図書室に集まっています。欲しい情報はスマホでピンポイントに得ることができますが、本の場合は情報に行き着くまでに周辺の情報も入り、知識に深みが出ます。本校では本を選んで読書をしてもらい、感想文に対して表彰する機会を設けています。

12月10日 美浜東小学校(29冊)



12月2日 三宅小学校(29冊)



図書購入の予算の少ない中、このような図書贈呈は大変助かります。

12月11日 梅の里小学校(51冊)



12月9日 気山小学校(41冊)



図書購入予算が厳しい中、寄贈は大変ありがたい。毎朝15分間の読書時間を設けているので、ほとんどの児童が読書に関心があり、新書に飛びつき校長室に読み聞かせてと図書を持ってくる児童もいます。

12月8日 三方小学校(27冊)



開放感たっぷりの図書室に置かせて頂きます。

12月9日 鳥羽小学校(50冊)



12月2日 上中小学校(42冊)



この2冊は各校に配布

児童養護施設慰問

実施日時：2026年4月3日(金)10:00～12:40

場 所：旧北小学校体育館

慰問内容：白梅学園が行う交流会(室内ゲーム大会)に参加

参 加 者：白梅学園33名(児童23名、職員10名)、敦賀ロータリクラブ会員他 10名



白梅学園児童からのお礼



クラブからの参加者



○×クイズ



みんなで昼食

くゲームで楽しもう！

- 1限目 体育 足踏みゲーム (1対1で5人ずつ)
- 2限目 国語 逆さ言葉ゲーム (全員)
- 3限目 図工 絵で伝言ゲーム (5人ずつ)
- 4限目 算数 数字ぬき数えゲーム (1対1で5人ずつ)
- 5限目 理科 ○×クイズ (全員)
- 6限目 音楽 白梅学園節の歌 (全員)

授業(ゲーム)終了!

ゲームスケジュール

① 足踏みゲーム		② 逆さ言葉ゲーム		③ 絵で伝言ゲーム		④ ○×クイズ	
ロータリーチーム	子どもチーム	ロータリーチーム	子どもチーム	ロータリーチーム	子どもチーム	ロータリーチーム	子どもチーム
197 cm	96 cm	197 cm	96 cm	197 cm	96 cm	197 cm	96 cm
115 cm	140 cm	115 cm	140 cm	115 cm	140 cm	115 cm	140 cm
38 cm	6 cm	38 cm	6 cm	38 cm	6 cm	38 cm	6 cm
97 cm	155 cm	97 cm	155 cm	97 cm	155 cm	97 cm	155 cm
135 cm	146 cm	135 cm	146 cm	135 cm	146 cm	135 cm	146 cm

成績(3勝2敗で敦賀RCの勝利)



絵で伝言ゲーム(お題は「傘をさしたサル」)



数字ぬき数えゲーム



宇野会長の挨拶



足踏みゲーム



逆さ言葉ゲーム

こども食堂慰問事業

おひさま

実施日時：2026年3月25日(水) 17:30~19:00

先方：スタッフ(15名)+こども食堂利用者(約30名)

参加者：敦賀ロータリークラブ会員(3名)、
敦賀気比インターアクトクラブ(5名)

贈呈品：ランチプレート(16枚)

実施内容：紙芝居の演技、食事



青空

実施日時：2026年4月21日(火) 18:00~19:30

先方：スタッフ(7名)+こども食堂利用者(32名)

参加者：敦賀ロータリークラブ会員(3名)、ゲスト(1名)

贈呈品：食材(牛肉など)

実施内容：ミニコンサート、食事



愛発ん家

実施日時：2026年4月12日(日) 10:00~14:00

先方：スタッフ(約15名)+こども食堂利用者(約50名)

参加者：敦賀ロータリークラブ会員(1名)、
敦賀気比インターアクトクラブ(4名)

贈呈品：食材

実施内容：食事の準備・片づけの手伝い、代表による講話、食事



めぐの家

実施日時：2026年4月15日(水) 16:30~18:30

先方：スタッフ(10名)+こども食堂利用者(約30名)

参加者：敦賀ロータリークラブ会員(1名)、
敦賀気比インターアクトクラブ(4名)

贈呈品：食材(白米、カレールー)

実施内容：紙芝居の演技、お絵描き遊びなど、食事



松原海岸清掃奉仕

<第1回>

- 実施日時:2025年9月6日(土)8:00~9:20
- 敦賀ロータリークラブ参加者:7名
- 参加協力団体:42名
 - 敦賀気比インターアクトクラブ:8名
 - 敦賀西ロータリークラブ:1名
 - 敦賀海洋少年団:33名
- ごみ回収量:12袋



第2回参加者

<第2回>

- 実施日時:2026年3月14日(土)8:00~9:00
- 敦賀ロータリークラブ参加者:10名
- 参加協力団体:26名
 - 敦賀海洋少年団:26名
- ごみ回収量:8袋



第2回参加者

<第3回>

- 実施日時:2026年6月7日(日)8:00~10:30
- 敦賀ロータリークラブ参加者:11名
- 参加協力団体:9名
 - 敦賀気比インターアクトクラブ:9名
- 敦賀市クリーンアップ作戦に参加



敦賀市クリーンアップ作戦参加団体



第3回参加者



敦賀市内の新一年生へのランドセルカバー贈呈

事前配布:2026年4月2日(木)9:20~10:50

対応者: 敦賀ロータリークラブ会長、奉仕プロジェクト委員長

入学式対応:2026年4月8日(水)

対応者: 敦賀ロータリークラブ会員9名(右表参照)

配布物:ランドセルカバー、趣意書、校長先生宛文書

小学校	新一年生数
敦賀西	27
敦賀南	24
角鹿※	47
松原	35
中央	69
沓見	15
東浦※	2
中郷	55
粟野	83
粟野南	68
黒河	13
合計	438

※:角鹿、東浦小学校は、入学式対応なし



沓見小学校



中郷小学校



黒河小学校



敦賀南小学校



松原小学校



粟野小学校



角鹿小学校



中央小学校



敦賀西小学校



東浦小学校



粟野南小学校

事前配布



沓見小学校



黒河小学校



松原小学校

入学式対応

親子のフェスティバル協賛

実施日時:2026年5月10日(日)9:30~15:00

参加者:敦賀ロータリークラブ関係者(12名)

敦賀気比インターアクトクラブ(9名)

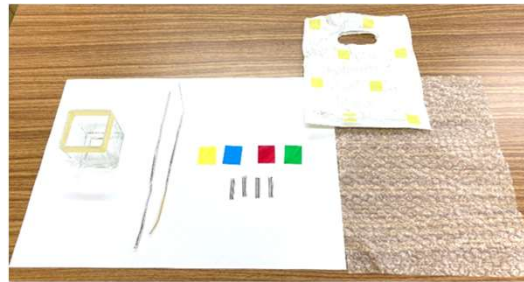
出展内容:グラスアートづくり(150個)



製作風景



グラスアート完成品



グラスアート部品



参加者集合写真



出展ブース

フランス兵墓地慰霊祭

◆実施日時

2025年8月6日(水)11:10~11:40

◆実施場所

敦賀市来迎寺

野墓 フランス海軍兵墓地前

◆参加者

自衛隊:3名

福井地方協力本部長他

福井日仏協会:2名

敦賀ロータリークラブ会員:10名

善妙寺住職:1名

◆報道関係者

RCN

中日新聞(県民福井)

福井新聞



慰霊祭の様子

フランス兵墓地慰霊碑設置

実施内容： 慰霊碑1基、墓碑2基の設置 (協力:(有)村井看板店)



フランス人兵士の墓所

日本の地に埋葬された二人のフランス海軍下士官を想って

明治時代、フランス海軍の下士官二人が敦賀市の墓地に埋葬された。イヴェマリ・グレモは1849年10月2日、ブルターニュのトレメロケールに生まれ、1867年17歳で海軍隊に加わる。1869年、水夫となり、1870年にフランス海軍に入隊、砲兵として勤務を行い、23年間の海軍に勤務し、1893年を艦上で過ごす。1893年に兵曹長に昇進し、1893年12月12日、戦艦バヤールに乗艦。1894年8月30日に、敦賀に歸泊中の同艦内でマラリヤのため逝去。優れた勤務成績が認められ、1890年に軍功章を受賞。

イヴェマリ・グレモは1877年12月29日にブルターニュのブルアで生まれた。1898年、11歳のとき、見習い水夫となる。船大工を専門とし、1898年水兵としてフランス海軍に入隊。22年間の勤務中に、トンキン遠征に参加し、植民地勲章を授与される。その後、砲艦シュブリーズに乗艦し、中国の義和団に対する遠征に参加し、1900年に中国遠征記念メダルを得た。1910年11月1日、兵曹として、巡洋艦デュプレックスに乗艦する。1911年7月9日、韓国、仁川からの出港時、肺炎に罹患。1911年7月20日、敦賀沖のデュプレックス艦上で回復することなく逝去。

第二次大戦後、墓地は荒廃したが、1960年10月、敦賀ロータリークラブは、日本の地に眠る外国人の魂を想うために、墓地を清掃、修繕することを決定した。在日フランス大使館、在京フランス総領事館、フランス大使館武官室、フランスの戦没者記念会「スーヴェニール・フランセ」が、敦賀ロータリークラブ、そして村井看板店協会は同名のフランス人水兵の記憶を称えるため、本慰霊碑を建立した。

2025年11月吉日

Tombes de deux soldats français

À la mémoire de deux marins français inhumés en terre japonaise

Au cours de l'ère Meiji, deux officiers maritimes de la Marine nationale française ont été enterrés dans le cimetière de la ville de Tsuruga.

Monsieur Yves-Marie GLEMO, né le 2 octobre 1849 à Trémeloir, en Bretagne, s'engage dans la marine marchande en 1867, à l'âge de 17 ans. Il devient matelot en 1869, puis est incorporé dans la Marine nationale en 1870, où il sert en tant que canonier pendant vingt-trois années, dont dix-huit passées en mer. Promu au grade de premier maître en 1885, il embarque le 12 décembre 1893 à bord du cuirassé Bayard. Il décède le 30 août 1894, alors que le bâtiment se trouve en rade de Tsuruga, des suites du paludisme. En reconnaissance de ses excellents états de service, il est décoré de la Médaille militaire en 1890.

Monsieur Yves-Marie LE GONIDEC, né le 29 décembre 1877 à Plouha, en Bretagne, entre dans la marine à l'âge de onze ans comme mousse. Spécialiste en charpenterie, il est incorporé dans la Marine nationale comme matelot en 1898. Au cours de ses vingt-deux années de service, il prend part à l'expédition du Tonkin, pour laquelle il est décoré de la Médaille coloniale, puis à l'expédition contre les Boxers chinois, à bord de la canonnière Surprise, pour laquelle il se voit décerner la Médaille commémorative de l'expédition de Chine (1900). Le 1er novembre 1910, il embarque à bord du croiseur cuirassé Duplex en qualité de second maître charpentier. Il contracte une pneumonie lors de l'appareillage du bâtiment à Incheon, en Corée, le 9 juillet 1911, et s'éteint le 20 juillet 1911 alors que le Duplex se trouve en rade de Tsuruga.

À la suite de la Seconde Guerre mondiale, le cimetière de Tsuruga où reposaient ces deux marins tombe en désuétude. Toutefois, en octobre 1960, soucieux d'honorer les âmes égarées inhumées en sol japonais, le Rotary Club de Tsuruga entreprend la restauration et l'entretien des sépultures.

L'Ambassade de France au Japon, le Consulat général de France à Kyoto, la Mission de défense à Tokyo, le Souvenir Français, le Rotary Club de Tsuruga et l'Association franco-japonaise de Fukui ont souhaité ériger ce mémorial afin d'honorer la mémoire de ces deux marins français.

Novembre 2025

慰霊碑



設置場所全景(来迎寺墓地)



敦賀ロータリークラブ披露会参加者 (12月10日)



会長による慰霊碑読み上げ



GLEMO Yves-Marie
Premier maître
Décédé des suites de maladie à bord du Bayard
le 30 août 1894



LE GONIDEC Yves-Marie
Second maître
Décédé des suites de maladie à bord du Duplex
le 20 juillet 1911

墓碑